事業所名：社会福祉法人森友会　児童発達支援事業所　なごやかな森長浜

支援プログラム

作成日　令和 7年 4 月 1 日

法人（事業所）理念		～すべての子どもの最善の利益のために～						
支援方針		未就学児のための児童発達支援事業所です。通所すると、毎日身支度ボードを見ながら生活に必要な身支度を整えます。活動は、5人ずつの小集団で部屋を分け「運動遊び」「サーキット」「手先」「コミュニケーション」「感触」「マッチング」「ルール」「運筆」などその集団に合ったものを日替わりで計画しています。また、その中で専門職による個別支援も週に1回または2週に1回必要に応じて行っています。						
営業時間		AM 9 時 30 分から 11 時 30 分まで PM 13 30 15 30				送迎実施の有無	(あり)　なし	
		支　援　内　容						
本人支援	健康・生活	定期的な心身の把握として、毎日の身支度時に検温を行います。活動の流れを絵カードなどで示したり、活動場所の構造化を図り落ち着けるスペースや体を動かせるスペース、座って遊べるスペースを分けています。また、1日の生活の流れは変えずに安心して過ごせるように、見通しを持って過ごせるようにしています。						
	運動・感覚	運動の活動やサーキットを多く取り入れ、全身運動から身に着けた力が、手先や指先の細かい動きに繋がるように支援しています。また、専門職が小集団活動介入し個別にアドバイスを行い、必要に応じて専門職による個別療育も行います。						
	認知・行動	毎日、始まりのお集まりと帰りのお集まりを行っています。始まりのお集まりでは、日付や天気の把握と確認による感覚、数の認識を形成します。また、年少以上になると天気や出欠確認の当番、絵本を選ぶ当番、机を拭く当番を順番で行い、責任感をもって取り組む力を養います。						
	言語 コミュニケーション	毎日のお集まりでは、名前呼びで少人数の前で名前を言う機会を設けています。また、他者意識が育めるようにその日のお友だちの人数を一緒に数えています。個別又は小集団にて、1人1人の児童に合った活動を行い、発語や語彙の獲得に繋げています。						
	人間関係 社会性	集団の活動を通じて他者と生活していくためのルールを学びます。 また、始めと終わりの自由遊びの時間では、自分でウォールポケットの中からやりたい遊びを見つけ伝えることで、自主性を育んでいます。 児童1人1人に寄り添い、できたことだけでなく頑張っている過程も賞賛し励ます支援をしています。						
家族支援		困りごと等が発生した際は、モニタリング以外でも面談を行っています。また、訪問支援により通所園との連携を図っています。訪問支援を行った際は、毎回園での様子をお伝えしています。				移行支援	・就学に向けて、保護者様の不安を軽減するための相談を行っています。 ・保護者様のご意向によっては、就学先の小学校に出向き児童の困りなどの配慮について、学校の先生と情報共有いたします。	
地域支援・地域連携		事業所内での過ごした様子や出来事は保護者にお知らせすると共に、リタリコ発達ナビにてブログを定期的に配信しています。				職員の質の向上	毎朝朝礼ミーティングを行い、通所児童の共有を行っています。また、研修や月1回の会議で支援方法を統一するようにしています。	
主な行事等		・身体技能訓練、自然散策のための所外活動の機会 ・クリスマス会やお誕生日会、季節の製作						